

<大和市社会福祉協議会 様>

上映日:2021年12月04日(土) 場所:やまと芸術文化ホール サブホール(神奈川県大和市)



映画の力を借りることで、学生に介護の仕事の魅力を十分伝えることができた

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

例年、中高生を対象にボランティア体験事業を行っていますが、新型コロナウイルスの影響から実施が困難な状況がありました。そこで、代替事業として「ケアニン」上映会を企画することとしました。目的は、「ケアニン」を見ていただくことで、介護の仕事を知ってもらい、魅力を知ってもらうことです。

また、この事業のために大和市内の高齢者施設の若手職員にも声をかけ、学生に福祉の魅力を伝えるための工夫について話し合い、準備を進めてきました。当日は、大和市の「リアル ケアニン」による介護の仕事の話やQ&Aコーナーを設け、映画とともに福祉の魅力を発信しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

大和市社会福祉協議会の主催で進めてきました。また、大和市高齢者福祉施設協議会の協力を得て、各施設の若手職員からなる「福祉の魅力を伝えるプロジェクト」のメンバーに手伝っていただきました。

●協力の得られた団体はありましたか？

開催の趣旨を各施設を回り説明させてもらいました。

●資金はどのように捻出しましたか？

当協議会の財源を活用しています。

●地域へどのように告知をしましたか？

今回は、主な対象が中高生でしたので、大和市内の中高生に学校を通じてチラシを配布してもらいました。また、大和市社会福祉協議会の広報誌やホームページ、地元のタウンニュースへの掲載を行っています。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

上映中は、泣いている方も多かったのか、鼻をすする音が聞こえていました。「感動しました」という声をたくさんいただきましたが、特に参加いただいた学生からは、「人の役に立てる仕事に就きたいと感じた」「福祉のイメージが変わった」などのメッセージをいただき、介護の仕事の魅力を十分伝えることができたと感じました。

新型コロナウイルスの影響で昨年度、また今年の8月と2度の延期を経験した上での開催となりました。コロナ禍でも参加していただいた来場者の方には感謝しています。

今回の目的は、学生に福祉の魅力を伝えることでしたが、十分伝わったという実感があるので、開催してよかったと感じます。

●地域の方々と繋がったエピソードがあれば教えてください。

今回の上映会は、市社協から呼びかけを行い、市内の高齢者施設で働く若手職員にも協力をいただきました。「福祉の魅力を伝えるプロジェクト」というチームが結成できたのは、映画上映会という目標があったからです。

今後も、学生や若い世代に福祉の魅力を伝える活動を展開していく予定です。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

若い世代に福祉の魅力を言葉だけで伝えることは難しいですが、映画の力を借りることで伝わりやすいと思いました。学校で上映するなど多くの子どもたちに見てもらいたいと思います。

ご担当者:坂上周平さん